# 透析にならないために

透析室 看護師

#### 透析ってなに?

透析とは...

慢性腎不全患者に対して、 体内に溜まった毒素の排除や 水分の除去(除水)や電解質の調整をしたりする治療法

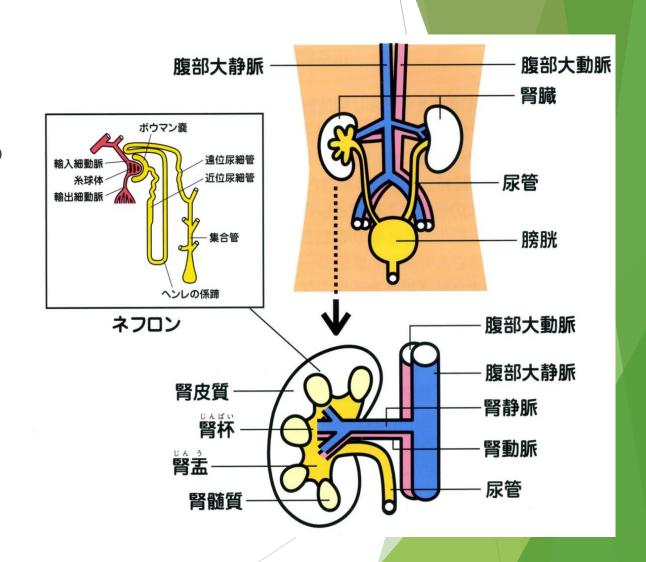
★一言で言うと【腎臓の代わり】をしてくれる治療

#### 腎臓の位置と構造

・腎臓は腰の上あたり、 背筋の内側に左右一つずつある

・ソラマメ状の形成人では、こぶし大の大きさ

・腎臓1個のおもさ120g~150g



## 腎臓のはたらき

01 血液中の老廃物を取り除く

02 体内の水分量や電解質を一定に保つ

03 赤血球をつくるはたらきを助ける

04 ビタミンDを活性化し骨を強くする

05 血圧を調整をする

## 腎機能が低下すると...

01 老廃物の蓄積

02 水分の蓄積・体重増加、電解質異常

03 貧血

04 骨粗鬆症

05 血圧調整が困難

#### 透析療法のねらい

1) 尿毒素を取り除く 本来であれば腎臓の働きにより体の外に排泄されるべき 老廃物(尿毒素)を取り除く

2)余分な水分を取り除く 腎臓の働きにより体の外に尿として 排泄されるべき水分を取り除く

#### 透析療法のねらい

3) 電解質バランスを整える ナトリウム、カリウム、カルシウムなどの 血液中の電解質を過剰な場合は透析液に排泄し、 不足の場合は透析液から補って正常な範囲に整える

4)血液 p H (酸性とアルカリ性)の調節 血液が望ましい弱アルカリ性になるように、 血液中の酸を取り除きアルカリを透析液から補う

## 透析の流れ

来院体重測定



透析開始 穿刺

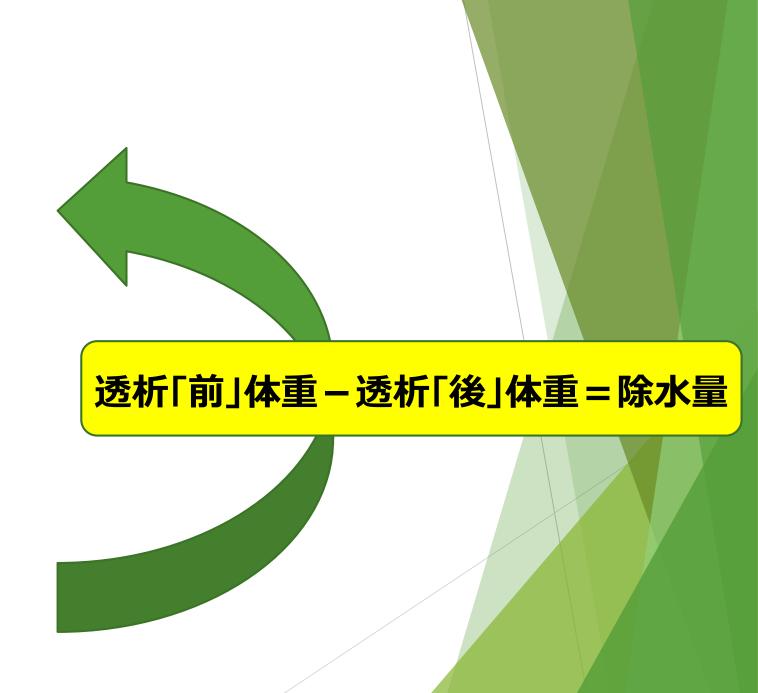


→ 4~6時間

透析終了 抜針・止血



体重測定 帰宅



#### 透析治療の特徴

・腎臓の代わりに役割を果たしてくれるものが透析療法

・1週間に3回通院が必要

・1回の治療時間は4~6時間

・透析で補えない分は薬で補う



・透析は一度始めると腎移植しない限り生涯継続することになる

# 当院の透析室の紹介

・病床 60床 (個室3部屋あり)

・透析日:月曜~土曜 週3回(1回に4~5時間)

月水金:2クール 昼間 夜間

火木土:1クール 昼間



## 腎臓を守るために

① バランスの良い食事を摂る

1日3食バランスの良い食事を 心がけましょう



#### ②塩分制限

・醤油やソースはなるべく使わないようにする 麺類の汁は残す

塩分を取りすぎると高血圧になります 腎臓は血管の塊であるため高血圧で血管が痛み腎臓も傷つきます

塩分制限 1日あたり 高血圧なし 男 7.5g 女6.5g 高血圧あり 6g未満

## ③血糖管理

HbA1 c : 7%未満が血糖値の管理目標

※糖尿病予備軍の方は特に注意



④お酒は控えめに 過度の飲酒は肥満・糖尿につながります 度を超えた過剰なアルコールは 肥満・高血糖の原因となる可能性があり、 脳血管疾患(脳梗塞など)・心疾患(心不全など)の危険因子となる

・アルコールは腎臓からの尿酸排泄を少なくし、尿酸濃度を高める働きがあるのでお酒を控える必要がある。★お酒と一緒に食べるおつまみにも塩分、カロリーへ注意が必要

#### ⑤ 適度な水分補給

腎臓は、身体の水分量を調整する働きがあるため 水分が不足すると脱水症状を起こし、

腎臓に負担をかけてしまう

#### 6禁煙

喫煙は明確な透析の原因 タバコで血圧も上がります。副流煙も有害です。

たばこの有害物質は動脈硬化を起こし 腎臓の血管も動脈硬化させます

#### ⑦運動をすること

運動は

血圧を下げ 血糖値を下げ 体重も下げます

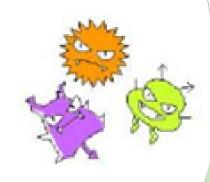


具体的に...

早歩き、ゆっくりなジョギング、自転車、庭の草むしり

⑧ストレスをためこまない 暴飲暴食や飲酒量、喫煙数の増加など 腎臓の負担増加につながる行動に陥りやすくなる

ストレス下では免疫力が低下しやすく 感染症にかかるリスクが高くなる



体を動かしたり、十分な睡眠を取るなどして ストレスを減らしましょう

